

「稲刈り速いな」大型機械に注目

刈取った粉がフレコン袋に入るのを見守る



9月26日、市立上郷小学校2年生70人が、稲刈りの見学に八方原にやってきました。大型のコンバインに興味津々でした。

2年生は6月に田植えを見学しています。それから約3か月、緑色の小さな苗が、お米になったことに不思議な気持ちのようでした。

杉山さんが機械や作業の内容を説明してくれました。「ご飯を残さないこと、野菜もしっかり食べることを児童に約束させていました。

稲作にもいろいろな試みがある

各地で稲作の新しい試みが行われています。お隣の名田島地区では、「黒米」と呼ばれるものや、普通の稲よりはるかに大きな「飼料米」が耕作されている



途中で植え替えたとのこと、育ちにくい？

ました。黒米は古代の米に近いものらしく、白米に比べてビタミンが豊富とのこと。道の駅で販売しているそうです。飼料米は家畜のえさになるものですが、背も高く株も大きなものでした。農水省も利活用を推進しています。



左側が飼料米、背丈は1メートルを超える



田んぼの中の稲わらや株、土の感触を確かめた

児童の4分の1は稲刈りを見たことがないという状況です。帰りには、刈取りの終わった田んぼの中を歩いてみました。土や稲株の感覚を楽しんだのではないのでしょうか。

シルバーパワーでピカピカ道路

9月18日、八方原老人クラブの市道清掃のボランティア活動が行われました。老人クラブの全国一斉社会奉仕活動の一環です。これは15日から21日までの「老人週間」の中で全国各地で行われます。

当日は29名のメンバーが参加し、市道のまわりの除草と清掃活動に汗を流しました。事前に除草剤の散布で殆どの草は枯れてはいましたが、それらを丁寧に剥ぎ取り、トラックに積み込んで処分しました。皆さん、ご苦労様でした。



夏のような日差しの中、メンバーの丁寧な作業

夏の行事の締めくくり



区長、公民館長、会計役からのお礼の言葉

夏の行事の慰労会が9月22日の午後に行われました。ふしの夏まつり、ふれあい盆踊り、スポーツ大会への参加者を中心に集まりました。

暑い夏は各地でいろいろな行事が行われますが、こうした時期の最後に行われるスポーツ大会の日程に合わせて行われることになっています。

残念ながら年々参加者が少なくなっています。こうした傾向は、当地区だけではなく、各地区の悩みとなっているようですが、日頃顔を合わすことのない人とのかけがえのないひと時、大いに語り合いました。

何キログラムあるじゃろうか

ジャンボかぼちやの重量当てクイズが「八方原ふれあい朝市」で開かれていました。原田好江さんの作られたかぼちや15〜30キログラムの間というヒントが書かれていましたが、ピタリ賞が出ましたですよ。



試合前のリラックスした選手、楽勝のはずが

八方原ソフトボールチーム 無念!

9月1日、市の体育大会は、前日から雨のため一部競技は中止となりました。そのため、ソフトボール競技に出場が決まっていた八方原チームでしたが、大会初勝利は叶いませんでした。9月22日、小郡地域ソフトボール大会が行われました。八方原チームは3年連続の優勝を目指しましたが、1回戦で蔵敷チームに0・9の完封負けとなりました。この結果、次年度はブロックを一つ下げてBブロックからやり直しとなりました。勝つだけが目的ではありませんが、負けるのは悔しいですね。

お不動様のご本山にご挨拶



八方原のお不動様には毎年春に、ご本山からお勤めに来られています。今年は開設80周年にあたることから、佐賀県基山町の瀧光徳寺に地元や関係者33名がお参りをしました。原田温子